

一般社団法人 日本ケアラー連盟 主催

ヤングケアラーを 理解し支援するための オンライン講座

- ✓ オンデマンド配信※のため、どなたでもご自宅から受講できます。
- ✓ 期間中は何度でも視聴できます。

※C 研修インストラクター養成コースのみ、集合研修への参加が必須となります。

3つのコースから選べます

※定員になり次第締め切ります。



A 入門コース

オンライン受講のみ

ヤングケアラーについての理解と支援についての知識を学ぶ入門コースです。一般の方に向けたわかりやすい内容です。

■受講（配信）期間

2022年10月1日～2023年2月28日の間

■オンライン学習時間目安

60分

■受講料

2,000円

■受講に向いている方

- ・ヤングケアラーについて学んでみたい方
- ・学生の方（探求学習やレポート等の参考に）

■募集人数

300人

■特徴

- ・オンライン学習のため好きな時にいつからでも始められます
- ・全国どこからでも受講できます

- ・すきま時間に少しずつ学ぶこともできます
- ・修了後、希望者には受講証明書を発行します

A 入門コースを申し込む



B 基礎コース

オンライン受講のみ

ヤングケアラーの基礎知識や現状を理解するための調査データの解説、支援のあり方、事例の紹介など、5人の講師の講演を通して学べるコースです。

■受講（配信）期間

2022年11月1日～2023年2月28日の間

■オンライン学習時間目安

180分

■受講料

8,000円

■受講に向いている方

・自治体職員、法人（NPO含む）関係者や職員、研究・教育関係者、医療・福祉の専門職、民生・児童委員、地域の支援者の方 他

■募集人数

260人

■特徴

- ・オンライン学習のため好きな時にいつからでも始められます
- ・全国どこからでも受講できます
- ・すきま時間に少しずつ学ぶこともできます
- ・修了後、希望者には受講証明書を発行します

B 基礎コースを申し込む



C 研修インストラクター養成コース

オンライン受講＋集合研修

**ヤングケアラーの理解と支援の必要性を広める人材となっ
ていただくことを目標としたコースです。**

★募集定員に達したため、締め切りました。

■受講（配信）期間

2022年11月1日～2023年1月20日の間

■集合研修（東京会場）

1月28日（土）、1月31日（火）のいずれか

■オンライン学習時間目安 180分+集合研修 6時間**■受講料**

18,000円（Bコース受講費+集合(対面)研修費）

■受講に向いている方

・ヤングケアラーコーディネーターまたは、今後ヤングケアラーに関する研修講師を担う予定のある方、研修インストラクターを志望する方

■募集人数

40人

■受講条件

- ・対人援助や相談支援の知識がある方
- ・パワーポイントが使える方

■インストラクターになるには

・期間中にオンライン学習をすべて受講し、東京会場で開催する集合研修に参加し、所定の学習を全て修了すること

■特徴

- ・研修インストラクターに必要なヤングケアラーに関する専門知識を学べます
- ・集合研修の演習を通して企画立案の方法や効果的なプレゼンテーションなど講師に必要なスキルを学べます

A 入門コース

全5章の一部をご紹介します！

スライドとナレーションによる学習です。

下のスライド資料は、その一部です。

第1章

ヤングケアラーの概要

(スライド資料／15ページ、動画／6分44秒)




障がいのある子どもを育てている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と介護でせいっぱいでほかに何もできない



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族をケアしている



障がいや病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座 (入門コース)

第1章では、どのような子どもたちが、ヤングケアラーなのかをみていきます。

ヤングケアラーについて学ぶ前提として、ケアラー全体の課題を確認したあと、ヤングケアラーとはどのような子どもたちで、どのようなケア役割を担っているのか、どのような状況におかれているのについて学びます。

最後に、ヤングケアラーが大人になったあとの課題についてもふれます。

第2章

ヤングケアラーの理解

— 子どもたちがケアをする社会的背景を知る —

(スライド資料／20ページ、動画／6分10秒)



2人で1人の高齢者を支えています

2021

15歳～64歳の人
7,450万人

高齢者／現役世代の比率
28.9%／59.4%



内閣府:令和4年版 高齢社会白書

ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座（入門コース）

第2章では、ヤングケアラーを理解するために、子どもがケアをすることになった社会的背景を学びます。

少子高齢化、家族・家庭生活の多様化などの社会構造の変化に加え、病気や障害のある人が増加するなかで、誰もが家族ケアをする時代に突入した日本の現状を確認します。

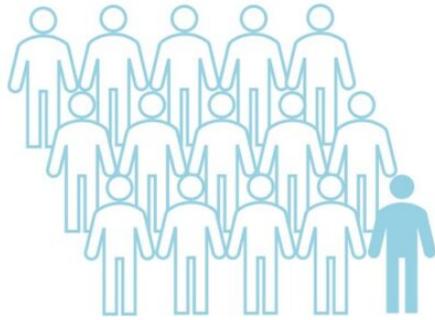
第3章

ヤングケアラーの理解

－ 子どもたちの現状を知る －

（スライド資料／20ページ、動画／6分8秒）

小学6年生の15人に1人は 家族のケアをしています



家族をケアしている

- ・小学6年生
15人に1人(6.5%)
- ・中学2年生
17人に1人(5.7%)

日本総合研究所：ヤングケアラーの実態に関する調査研究 2022
三菱UFJリサーチ&コンサルティング：ヤングケアラーの実態に関する調査研究 2021

ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座（入門コース）

第3章では、実態調査をもとにケアをする子どもたちの現状を読み解き、ヤングケアラーへの理解を深めます。

2020年～2022年にかけて厚生労働省と文部科学省が協力し、全国で小・中・高校生のアンケート調査を実施し、家族をケアしている子どもの数、家族の状況、ケアの実態などがわかってきました。

その結果をもとに、ヤングケアラーの実態を把握します。

第4章

ヤングケアラーの理解

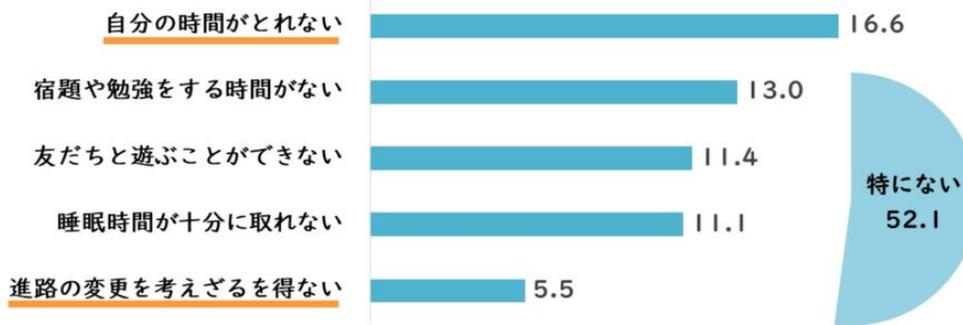
－ ケアラーであることが子どもたちに与える影響 －

（スライド資料／24ページ、動画／9分22秒）



進路の変更を考えざるを得ない 子どもたちもいます

ケアのために、したくてもできないこと（高校2年生）



三菱UFJリサーチ&コンサルティング：ヤングケアラーの実態に関する調査研究 2021

ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座（入門コース）

第4章では、第3章に引き続き、実態調査をもとに、ケアラーであることが子どもたちに与える影響について考えていきます。

調査結果をもとに、家庭や学校での生活にどのような影響があるかを読み解きます。

また、重要な支援の1つである「相談」が子どもたちにとってどのような意味があるのか、本当に子どもたちが求めているサポートについて学びます。

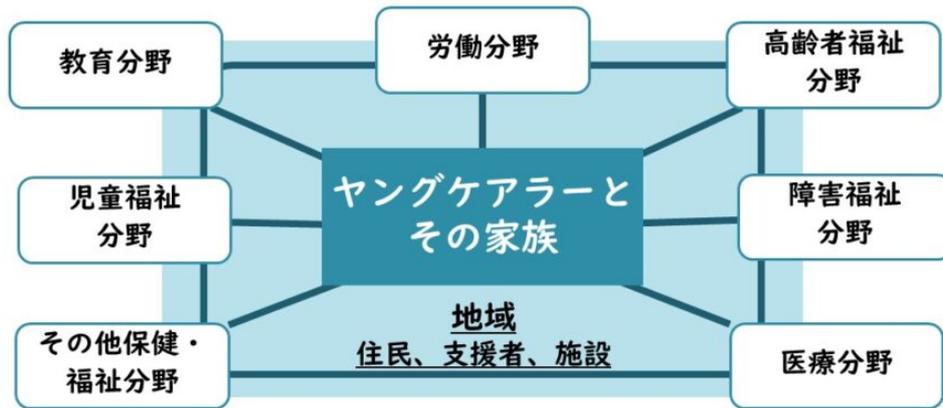
第5章

ヤングケアラーへの支援

（スライド資料／20ページ、動画／11分38秒）



行政と関係機関、地域が、 ヤングケアラーとその家族を支えます



ヤングケアラーを理解し支援するためのオンライン講座（入門コース）

第5章では、家族をケアする子どもたちを社会で支えるために必要な考え方を身につけます。

ヤングケアラーの支援を社会課題として捉えることの重要性と、支援が必要な子どもを早期に発見し、継続的に支援するために必要な視点と考え方を学びます。

そして、さまざまな立場の大人が、ヤングケアラーにできることを考えます。

A 入門コースを申し込む

B 基礎コース

学習時間はQuizへの回答作成などを含めると**180分（標準）**

[動画 / 146分、PDF / 163ページ、Quiz / 22問（記述式回答も含

む)、追加資料／3ページ]

講師による講義（収録）です。

日本ケアラー連盟監修DVD「ヤングケアラーの理解と支援のために」の動画も使用します。

※C 研修インストラクター養成コースのオンライン学習はB 基礎コースと同じ内容です。

下のスライド資料は、その一部です。

第1章

ヤングケアラーの現状の理解 (スライド資料／32ページ、動画／21分)

堀越講師

1. ヤングケアラー、若者ケアラーとは（3分）
2. ヤングケアラー支援の社会的背景（3分）
3. ヤングケアラーの施策動向（15分）

ヤングケアラー支援施策の4つの柱



1. 早期に発見し、アセスメントを行い支援する
2. 学びの機会とその結果を改善する
3. 支援ニーズに対応するサービスの開発とそれへのアクセスを保障する
4. 自立して社会生活を送れるよう支援する

・日本ケアラー連盟：<https://carersjapan.jimdofree.com/#youngcarerinfo>

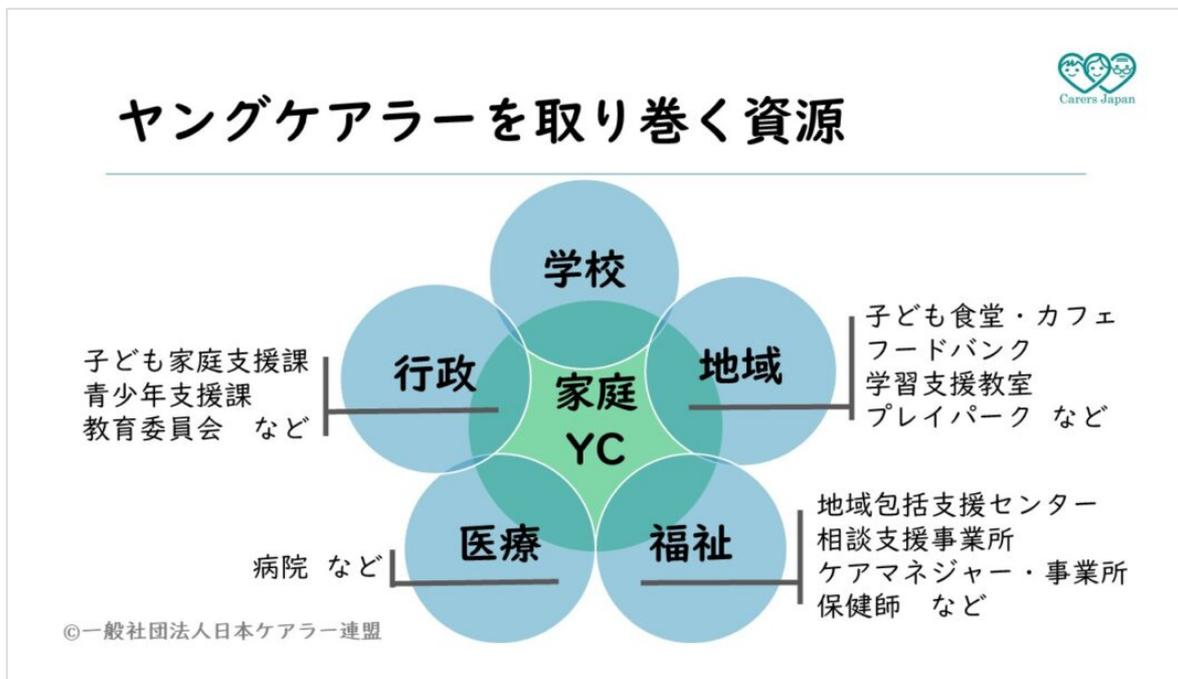
第2章

ヤングケアラーの実態

(スライド資料／40ページ、動画／43分)

牧野講師

1. ヤングケアラーが抱える課題 (7分)
2. ヤングケアラーが抱える問題・困難 (4分)
3. ヤングケアラー支援の課題 (7分)
4. ヤングケアラーを地域で支えるために (17分)
5. ヤングケアラーを支援するために (8分)



第3章

ヤングケアラーの支援の方法

(スライド資料／31ページ、動画／28分)

森田講師

1. 支援の視点とプロセス（4分）
2. ヤングケアラーのためのアセスメント（4分）
3. アセスメントの流れ（6分）
4. 支援の必要性の判断と支援方針の検討（3分）
5. 各機関に期待すること（5分）
6. 支援計画用フォーマットの記入例（6分）



多様な視点からのヤングケアラーの把握

	要対協での 発見	学校での 発見	多様な機関 での発見	セルフ アセスメント
第三者が気づける 子どもからのサイン	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみが整っていない 通院・受診等できていない 生活リズムが整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席が多い 遅刻や早退が多い 忘れ物が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に行っているべき時間に学校以外で姿を見かける 家族の介助や付添をしているのをよくみかける 	<ul style="list-style-type: none"> 親が病気や障がい 介護の必要な祖父母がいる ひとり親で夜間就労

・森田久美子：三菱リサーチ&コンサルティング：（令和元年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業）ヤングケアラーへの早期対応に関する研究報告書（2020）を基に作成

第4章

ヤングケアラー支援の実際

（スライド資料／31ページ、動画／39分）

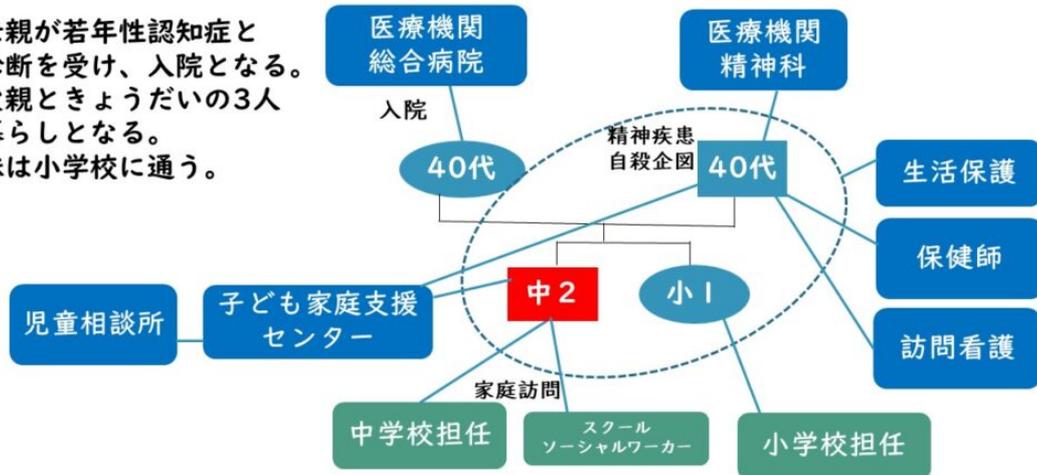
森田講師、田中講師

1. ヤングケアラー支援の事例（8分）
2. ヤングケアラー支援の実際
 - 2-1. 事例の概要（8分）
 - 2-2. 発見と支援体制の構築（6分）
 - 2-3. 関係機関や社会資源の調整（7分）
 - 2-4. 支援のポイントと課題（10分）



事例 子ども家庭支援センターを中心とした事例

母親が若年性認知症と診断を受け、入院となる。父親ときょうだいの3人暮らしとなる。妹は小学校に通う。



© 田中悠美子

*プライバシー保護のため、内容理解に支障のない範囲で改変しています

第5章

研修プログラム作成に必要な知識

(スライド資料／29ページ、動画／15分)

中村講師

1. 研修の準備に必要なこと (4分)
2. PPT等資料のまとめ方の基本 (2分)
3. プレゼンテーション時のポイント (3分)
4. 講師心得・著作権等 (6分)



講師心得

著作物の引用の条件

公開された
著作物
からの引用

自分の文書が「主」
引用の部分が「従」

原文通りに引
用する

引用を明確に
引用の出所を明示

引用する
必然性がある

- 引用するときは、引用部分とその他の部分（自作部分）が明瞭に区分できる状態にすることが必須です。
- 図表や写真などは、下部などに出典を明記したり、文章の引用は、鍵括弧を付したり自体を変えるなどが必要です。 など

B 基礎コースを申し込む

講師紹介（B、Cコース）



B、Cコース 第1章の講師

一般社団法人日本ケアラー連盟
代表理事
堀越栄子

日本女子大学家政学部家政経済学科卒業。現在、日本女子大学名誉教授。認定NPO法人さいたまNPOセンター代表理事。埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員。

日本ケアラー連盟の創設に関わり、以来、全国2万世帯のケアラー実態調査や自治体におけるヤングケアラー実態調査、政策提言、自治体職員や専門職、市民団体等へのケアラー・ヤングケアラー支援研修埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員を担っている。著書（共編著・分担執筆）に『福祉環境と生活経営』『市民生活と自治体責任』『暮らしをつくりかえる生活経営力』『ふれあいの医療ガイド』『総合介護条例の作り方』等多数。

講師紹介



B、Cコース 第2章の講師

一般社団法人日本ケアラー連盟

代表理事

牧野史子

千葉大学教育学部卒業。現在、NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン理事長。全国介護者支援団体連合会共同代表。生活協同組合パルシステム東京復興支援委員会有識者委員。認定NPO法人市民福祉団体全国協議会常務理事。

教員生活を経て移り住んだ兵庫県西宮市において、阪神淡路大震災に遭遇。その後、仮設住宅支援活動を立ち上げ取り組む中で、“介護者の地域での孤立”に着目し、1999年より「介護者の支援」活動に着手。2001年東京に戻り「介護者サポートネットワークセンター・アラジン」を設立。電話相談や訪問相談、「介護者の会」「ケアラーズカフェ」など“介護者を地域で孤立させない”支援のしくみと地域の人材育成事業を構築している。

講師紹介



B、Cコース 第3章、第4章の1の講師

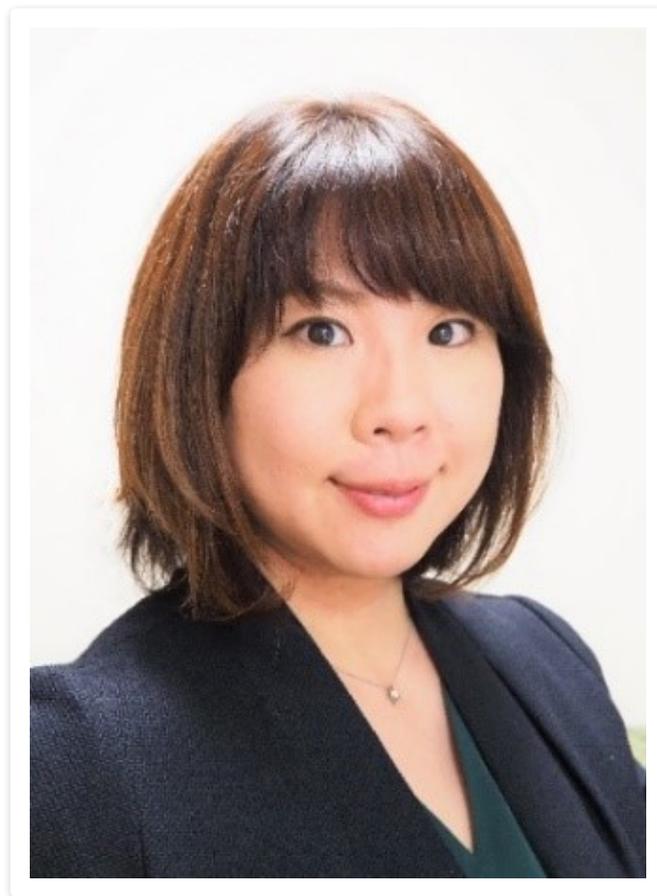
一般社団法人日本ケアラー連盟
理事
森田久美子

大正大学大学院卒業。立正大学社会福祉学部教授。精神保健福祉士、人間学（博士）、社会福祉学（修士）。専門は、精神保健ソーシャルワーク、ソーシャルワーク教育。

一般社団法人日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト担当理事として、ヤングケアラーの支援施策の提言に取り組む。厚生労働省がヤ

ングケアラーの支援施策を検討するために実施した調査研究や実態調査等の調査研究検討委員会の委員を務める。現在、2022年東京都ヤングケアラー支援検討委員会委員（座長）及び山梨県ヤングケアラー連絡会委員、大里地域自立支援協議会委員（会長）。また、公益社団法人日本精神保健福祉士協会「子ども・若者・家族支援委員会」委員及び一般社団法人ジャパンファミリーワークプロジェクト主催「メリデン版訪問家族支援」基礎研修トレーナーとして、精神に「障がい」のある人とその家族をまるごと支援することに取り組む支援者の育成に従事している。著書（共編著・分担執筆）に『ヤングケアラーを支える：家族を支える子どもたち』（堀越栄子・森田久美子他）「ヤングケアラーの教育保障とその対策：小学生のヤングケアラーに焦点をあてて」「ヤングケアラーが求める支援 と実際の支援」等多数。

講師紹介



B、Cコース 第4章の2の講師

一般社団法人日本ケアラー連盟

理事

田中悠美子

日本社会事業大学大学院卒業。社会福祉学博士、社会福祉士、介護福祉士。現在、立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教。一般社団法人日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクトでは、ヤングケアラーの研究や啓発、政策提言などを行っている。

東京都ヤングケアラー支援検討委員会、埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会の委員を務める。一般社団法人ケアラーワークスの代表理事を務め、若年性認知症の親と向き合う子ども世代のピアサポート活動等を展開している。ケアラー・ヤングケアラーに関する支援研修・講演会を年に20回以上。論文『介護家族のストレスとソーシャルサポート—認知症家族会の機能を考える』『若年性認知症者の総合支援システムにおける現状と課題—40代で診断を受けた若年性認知症者の生活課題に関する一考察』著書（共編著・分担執筆）に『介護現場のストレスマネジメント』等

講師紹介



B、Cコース 第5章の講師

一般社団法人日本ケアラー連盟
理事
中村健治

社会福祉士、介護支援専門員、福祉用具プランナー、2級心理カウンセラー。社会福祉法人北海道社会福祉協議会 地域共生社会推進部長（ケアラー支援推進センター長）。全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表理事・事務局長。

2021年度より厚生労働省の成年後見制度利用促進専門家会議委員、全国社会福祉協議会の地域福祉推進委員の「今後の権利擁護体制のあり方検討委員会」委員、北海道の北海道生産性向上委員会委員（副座長）など。「多様な介護者を地域で支援するツールの検証および人材養成プログラムの開発等モデル実践に関する調査研究事業」（2012年度老人保健健康増進等事業）をはじめ多くの研究事業に参画。2021年6月より北海道ケアラー支援有識者会議委員（座長）として、ケアラー並びにヤングケアラー実態調査、北海道ケアラー支援条例（2022年4月1日施行）、北海道ケアラー支援推進計画（策定中）を進めている。著書（共編著・分担執筆）に、「介護における社会福祉援助技術」「新しい地域福祉推進の理論と実践」「ケアマネジメント論」「現代の地域福祉」「高齢者の自立意識に関する一考察」「北海道における社会福祉法人の地域公益活動を考える」等多数。

本講座（eラーニング）の特徴

- 生配信ではないので、いつでも好きな時間に少しずつ学べます。（**オンクラス**というeラーニングのシステムを利用）
- 1つの章（カテゴリー）や項目（ブロック）を学ぶと次に進むことができます。また、各章ごとにQuiz（確認テスト）があり、学習したことを確認できます。
- スライド資料（付録を含め、100ページほどあります）は、各章ごとにPDFにてダウンロードすることができます。

オンクラス

✓ **【第1章】 1. ヤングケアラーとは**

▶ **動画を見て学習しましょう**

ヤングケアラーはこんな子どもたち

1. 障がいや病気のある家族に代わり、買い物・掃除・洗濯などの家事をしている

2. 家族に代わり、お医者さんや学校の話をしている

3. 障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている

4. 目を離せない療養の看護や声かけなどの気づかいをしている

5. 日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

6. 障がいや病気のある家族の世話をしている

7. 障がいや病気のある家族の世話をしている

8. 障がいや病気のある家族の世話をしている

9. 障がいや病気のある家族の世話をしている

10. 障がいや病気のある家族の世話をしている

04:10 / 04:10

解説

ヤングケアラーについてよく理解しましょう。

購入から学習の開始までの流れ

1

オンラインのLP (購入画面) の購入 ボタンをクリック



2

名前とメールアドレス を入力して送信ボ タンをクリック

メールアドレスと名前の確認

このコースをご利用になる際のメールアドレスと名前を入力してください。

名前

メールアドレス

キャンセル

3

届いたメール内の
URLにアクセスし、
オンクラスのアカウ
ントを本登録



4

クレジットカード情報
を入力し、支払い
ボタンをクリックし
て決済



5

届いた決済完了の
メール内にある**ログインURL**をクリック



6

受講生ログイン
フォームに入力し、
ログイン



The screenshot shows the OnClass login interface. On the left, under '受講生の方はこちら' (For students), there is a '受講生ログイン' (Student Login) section with a text input field for 'メールアドレス' (Email address) containing 'yonemura37@gmail.com' and a 'パスワード' (Password) field. A red circle highlights the 'ログインする' (Login) button. On the right, under 'オンクラスとは?' (What is OnClass?), there is a blue box with text: 'あなたの学習コンテンツを構築し、全国の受講生に提供できるオンライン教育プラットフォームです。' (Build your learning content and provide it to students nationwide on an online education platform). Below this are buttons for '管理側・スタッフはこちら' (Admin/Staff here) and 'アフィリエイトはこちら' (Affiliate here). At the bottom, there is a link for 'お問い合わせはこちら' (Contact us here).

※別コースを追加購入された場合、マイページ内のメニューバーをご確認ください。

一般社団法人 日本ケアラー連盟とは



2010年6月に発足。ケアラーを支える社会的仕組みを作るため、「ケアラー支援法」の制定や条例化を目指して、調査研究・啓発・政策提言・ロビー活動などを行っている。また、ケアラー支援のツールとして、「ケアラー手帳」その他に「政策パンフレット」、研修用DVD「ヤングケアラーへの理解と支援のために」を制作・販売している。

I A C O（国際ケアラー支援組織連盟：International Alliance of Carer Organizations）のメンバー。

A 入門コースを申し込む

B 基礎コースを申し込む

よくあるご質問

Q&A

Q

B 基礎コースや C 研修インストラクター養成コースについて、申込の予約はできますか？

A 予約は受け付けていません。

Q 領収書はもらえますか？

A A 入門コースと B 基礎コースの方は、ご希望者には修了された後に、受講証明書と領収証を発行可能です。C 研修インストラクター養成コースの方は、修了された後に、会場でお渡しします。

Q B 基礎コースは A 入門コースを受講してからでないと受講できませんか？

A A 入門コースの受講は必須ではありません。B 基礎コースのみの受講が可能です。

Q 利用できるクレジットカードの種類を教えてください。

A VISA、MasterCard、JCB、ダイナースクラブ、アメリカン・エクスプレス、ディスカバーカードがご利用になれます。

- 現在、以下のカードブランドがご利用可能となっております。



■C 研修インストラクター養成コースへのご質問

Q 集合研修は東京以外では開講されないのですか？

A 申し訳ございませんが、東京のみの開催です。

Q B 基礎コースを修了後に集合研修だけ申し込むことはできませんか？

A システム上できません。集合研修への参加をご希望の方は、お申込み時にC 研修インストラクター養成コースにお申込みください。

Q 集合研修の時間を教えてください

A 9：30集合 10：00～16：00（最長16：30）を予定しています。
※変更になることもありますのでご了承ください。

Q 終了後に懇親会などは予定されていますか？

A コロナ感染拡大防止の観点から、日本ケアラー連盟が主催する懇親会を開催する予定はございません。

Q 集合研修の場所はどこですか？

A 両日ともに「東京駅カンファレンスセンター」の会議室を利用予定です。東京駅 八重洲中央口 徒歩1分／東京メトロ丸ノ内線 東京駅 自由通路経由 徒歩7分の便利な会場です。

Q 受講条件に「対人援助や相談支援の知識がある方」と書いてありますが、資格を持っていなくても受講できますか？

A はい。資格を持っている方に限定はしていませんので、知識がある方でしたらご受講いただけます。

Q どの程度の知識が必要ですか？

A 社会福祉の基本的な法制度の知識や、相談援助を行うための基本的なコミュニケーションの知識があることが求められます。

Q パワーポイントほどの程度使えればよいですか？

A プレゼン時に使用する資料をパワーポイントを使って自分ひとりで作成できるレベルです。

例えば

- ・グラフや画像データを活用したスライドの作成ができる

（挿入する図形や画像データの作成や相互関係及び階層

の図解化などを含む)

・受講生に配慮したスライドの作成ができる

(配色やフォントなど、ビジュアル面の配慮など)

※本演習の参加条件として、パワーポイントは、読み書きのツールとして、最低限できることを前提としています。

Q オンラインで受講するためにパワーポイントが搭載されたPCが必要ですか？

A いいえ。オンライン講座受講にはパワーポイントの搭載は必要ありません。対面研修の時にパワーポイントを搭載したPCが必要になります。当日、各自でご持参ください。

Q Cコースの受講を考えています。交通費をかけて東京まで行き受講したのに修了証がもらえない（落とされる）ことはありますか？

A 日本ケアラー連盟の定めた基準に満たない場合には、修了証をお渡しできないことがあります。

Q パソコンが得意ではないので、当日までに発表する資料を知り合いに作ってもらって、それを使って発表してもいいですか？

A 当日、会場で作成していただきますので、事前に作成いただく必要はありません。また、おひとりで作成できる方が受講条件になっております。

Q 感染症拡大などで集合研修が延期や中止になった場合、返金されますか？

A 延期や中止は現在考えていません。対面研修への参加が公的（感染症の規定など）に難しい地域になってしまった方には、別途、個別に対応させていただく予定です。

■公費での受講をご希望の方からのご質問

Q 受講料を公費負担する都合があるため、請求書による支払いは可能ですか？

A 公費で受講の方からの同様のお問い合わせが多く寄せられたため、Cコースのみ請求書払い可としていましたが、他のご要望も多いためBコースのみのご希望の方、ならびにBコースとAコースをご受講希望の公費払いの方には、請求書払いを適用することになりました。11月1日に公費払いの方用の申込フォームを公開いたしますので、そちらからお申込みください。請求書払いの対象となるコースは次のとおりです。

- ・ A入門コース+B基礎コース
- ・ B基礎コースのみ
- ・ A入門コース+C研修インストラクター養成コース
- ・ C研修インストラクター養成コースのみ

Q Aコースは請求書による支払いは可能ですか？

A Aコースのみの方は、原則としてクレジットカード払いです。ご希望の方には、コース修了後に受講証明書と領

収証を発行いたしますので、立替払い等をお願いいたします。

立替払いが難しい方は、下記メールにてご相談ください。

e-learning-yc@carersjapan.com

※公費払いの方に限定させていただいております。

Q 支払い期限はありますか？

A お支払い期限につきましては、各自治体さまの規定に準じますので、お申込書に振込予定日をご記入ください。

Q 公費で受講を考えています。申し込みに必要な事項を教えてください。

A 公費の方には専用のお申込みフォームからお申込みいただくように準備しております。フォーム入力に必要な情報は、下記のPDFにてご確認ください。

Cコース、Bコースは、それぞれのお申込みフォームでのお申込みが必要です。

Bコース、CコースとAコースを併せての受講の方は、B、Cいずれかの受講されるコースの申込書をお使いください。

※請求書をまとめる必要がある場合は、お申込後で結構です。事務局までご一報ください。

[オンライン講座申込書（請求書払い用）Bコース・A+B共通](#) [ダウンロード](#)

※Cコースは定員に達したため締切ました

Q 申込みからお支払い、受講までの流れを教えてください。

A **【公費の方のお申込みからお支払い、受講開始までの流れ】**をご参照ください。
(↑↑↑ここをクリック)

■複数でお申込みをご検討中のみなさまへ

Q 職員を集めて集合研修として受講したいです。1名の申込で複数の受講はできますか？

A 個人の方が学習を進めていく形式になっておりますので、集合研修としてお使いいただくことはできません。
1メールアドレスに1名様受講できる形式です。

Q 法人のメールアドレスが1つしかありません。3人が受講を予定していますが、受講できますか？

A メールアドレスで受講状況を管理していますので、受講生の方おひとりに1つのメールアドレスが必要です。
Gmail等のアドレスでも受講は可能ですので、おひとりずつのメールアドレスをご準備の上、お申込みください。

A 入門コースを申し込む

B 基礎コースを申し込む

[特定商取引法の表記](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright ©一般社団法人 日本ケアラー連盟